

## はじめに

本研究室では1999年度以降、対象とする都道府県を変えながら巡検・調査を行い、報告書にまとめてきました。ここにその18冊目として「新潟県巡検報告書」を完成することができました。

本研究室では、2年生は「地理学実習Ⅰ」、3年生は「地理学実習Ⅱ」をそれぞれ履修することになっています。実習では、まず、斎藤・石井・岩田編『日本の地誌6 首都圏Ⅱ』のうち新潟県地誌を分担講読し、新潟県の基本的性格を理解しました。これを踏まえて、統計データの入手・分析などインターネットでの調査を通して、学生自らが研究テーマ・研究対象地域を確定しました。その後、聞き取り調査の依頼、対象機関への資料請求などを行いました。現地調査は、2016年9月5日（月）から8日（木）まで3泊4日で実施しました。その後は、必要な追加調査を実施しつつ、成果をまとめていきました。今年度の研究テーマは、新潟県の農業・工業・観光のほか、佐渡のエビ漁業、弥彦門前町の景観、長岡市のコンパクトシティなど多岐にわたりました。

「地理学実習Ⅰ」、「地理学実習Ⅱ」は、現地調査を通じて地域の諸問題を考える地理学において必須の授業として位置づけられます。テーマ設定・文献調査・統計分析・現地調査・図表作成・報告書執筆までの過程を学生が自ら進めなければならず、学生は試行錯誤の連続であったと思われます。報告書は全体として調査不足であり、分析・考察という点では不十分なものが多いと思われますが、皆さまからの御批評を頂ければ幸いです。

現地調査にあたっては、聞き取り調査にご協力頂いた、新潟県庁をはじめとする自治体・事業所・団体など関係者の皆さまには大変お世話になりました。末筆ながら、記して御礼申し上げます。

2017年2月

島根大学法文学部  
社会文化学科地理学研究室

田坂郁夫  
船杉力修  
菊池慶之

---

「2016年度 新潟県巡検報告書」

2017年2月 発行

発 行 島根大学法文学部社会文化学科地理学研究室

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

Tel & Fax : 0852-32-6168, 6181, 6183

e-mail [kikuchi@soc.shimane-u.ac.jp](mailto:kikuchi@soc.shimane-u.ac.jp)

<http://www.gensha.shimane-u.ac.jp/geo/>

---